



認知症サポーター養成講座（1年）

由利本荘市健康福祉部が主催し、11月に予定されていた、インフルエンザによる学校閉鎖等で延期になっていた「認知症サポーター養成講座」が12月11日（木）午後に1年生を対象に実施されました。

当日は、市北部包括支援センターの社会福祉士さんと主任介護支援専門員さんを講師に招き、総合的な学習の時間の探究活動の一環として行われました。

講座では冒頭で、85歳以上の老人の4人に1人が認知症の症状があると言われていることや由利本荘市大内地域の人口で65歳以上の人人が占める割合が45%を超えていたという事実が伝えられました。

そして、認知症と脳のはたらき、認知症について、早期診断・早期治療の大切さ、認知症を介護する家族の気持ちの理解、認知症の人と接するときの心がまえなどについて講話していただきました。

最後に認知症サポーター認定の証である「オレンジリング」が一人一人に授与されました。

1年生の皆さんには、ぜひ、家族の中でまたは地域の中でサポーターとしての役目を果たしてもらえばと思います。



計算領域診断テスト

1年生：正負の数…9問	1次式の計算…9問	1次方程式…7問	計25問
2年生：正負の数…6問 連立方程式…3問	式の計算…10問	1次方程式…5問	計25問
3年生：正負の数…3問 連立方程式…2問 2次方程式…3問	式の計算…6問 平方根…3問	1次方程式…4問 多項式…4問	計25問

12月10日（水）6校時に本荘由利教育研究会算数・数学部が企画し、全学年を対象にした「計算領域診断テスト」が行われました。

これは本荘由利地区の生徒の数学における計算力のアップをねらいとして長年にわたり行われてきたものであります。

今年度は上の表のように、中学でここまでに履修した計算問題の学力の定着を確認する問題が各学年25問出題され、80点以上を合格としています。

どの問題も秋田県公立高等学校入学者選抜学力検査の数学の大問1に出題される内容となります。

結果を受け課題が見つかった場合には、意識してその克服に努めてもらいたいと思います。

ここで、各学年で最も正答率の低かった問題を紹介します。ご家庭でもぜひ取り組んで正解になるように解法をマスターしてみてください。（答えは、うらにあります）

1年生

次の計算をしなさい。

$$(2x - 5) - (4x - 5)$$

※ヒント…ちゃんと展開しますか？余計なものをのこしていませんか？

2年生

次の式を[]の中の文字について解きなさい。

$$a = \frac{-3b + 4c}{2} \quad [b]$$

※ヒント…どの文字について解くのでしょうか？

3年生

次の式を因数分解しなさい。

$$2x^2 + 3x + 1 = 0$$

※ヒント…解の公式を使いますが、覚えてていますか？

冬眠せずに活動しているクマがいます！

冬眠しないクマに注意！



由利本荘市農山漁村振興課のメール配信によりますと、12月10日（水）と11日（木）に本荘地域でクマの目撃情報がありました。

また、県のホームページによりますと「【R7冬】クマが食べる可能性のあるものを片付けましょう！」という見出しが、「気温が氷点下でも、積雪があっても、食べものがある限り、クマは冬眠せず活動し続けます！」とあります。

今シーズンのクマは、例年とは違う行動を取っています。「冬眠せずに活動しているクマがいるのだ」という心構えで、今まで行ってきた対策を継続していただきたいと思います。

北海道・三陸沖後発地震注意情報

12月8日（月）23時15分頃発生の青森県東方沖を震源とするマグニチュード7.5の地震で、気象庁は、千島海溝と日本海溝沿いでは巨大地震が起きる可能性が普段より高まっているとして「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を出し、注意を呼びかけています。

9日（火）未明に行われた気象庁の会見では「最悪の場合2011年3月11日発生の東日本大震災のような地震が想定される」との見解を示しており、今後1週間で約1%の確率でマグニチュード8以上の地震発生の可能性を指摘していました。

東日本大震災の際には、由利本荘市では、震度5弱が記録され、気象庁の「震度とゆれの状況」によると震度5弱では「**大半の人**が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。棚にある食器類や本が落ちることがある。固定していない家具が移動することがあり、**不安定なものは倒れることがある。**」とあります。

また、当時の報道等によると、東日本大震災発生の際、青森県、秋田県、岩手県の**全域**と山形県、宮城県のほぼ**全域**、福島県の一部で**停電**し、秋田県は停電の復旧まで1日あまりかかったという記録が残っています。

学校では、授業中の後発地震発生時の停電対策として、電源を使用しなくても使えるストーブ（ダルマストーブ等）の個数の確認と燃料の確保をいたしました。ただし、普段の教室での室温にすることができるないと予想されますので、生徒の皆さんには長時間の停電に備え、「**コート、マフラー、手袋等の防寒具の準備**」を伝えています。（まだ、準備できていない、または持参していないご家庭では今一度ご確認をお願いいたします。）

さらに、「『さつきの丘』令和7年5月29日発行第8号」でもお伝えしていますが、大地震発生時には、大内地域では**土砂災害**も懸念されます。

この週末は、自宅いるときだけでなく、自宅外で活動しているときに地震が起ころうかもしれません。地震発生時の安全を確保する行動について確認し、「**自分の命は自分で守る行動がとれる**」ように備えていただきたいと思います。

学校生活アンケート

現在、由利本荘市学校生活アンケートの2回目が行われています。12月16日（月）を〆切としております。

まだ、ご回答のご返信をいただいているご家庭の皆様におかれましては、お手数をおかけしますが、なにとぞご協力よろしくお願ひいたします。

また、来週以降、学校評価アンケートをネットでお願いする予定です。アンケートが続き、恐縮ですが、よろしくお願ひいたします。

$$1 \text{ 年生} \dots -2x \quad 2 \text{ 年生} \dots b = -\frac{3}{2}a + \frac{3}{4}c \quad 3 \text{ 年生} \dots x = -\frac{1}{2}a - 1$$

<計算問題に対する正答率の最も低い方の問題の解答>